

こころ からだ けんこう 心と体の健康だよ！ 5年特別号

れいわ ねん がつなのか かわさき しりつつはししょうがっこう ほけんしつ
令和6年10月7日 川崎市立土橋小学校 保健室

5年生の保健の学習に『けがの防止』という単元があり、けがについての内容を扱います。第1時は『けがの発生』(けがの原因)、第2時は『交通事故の防止』、第3時は『学校や地域でのけがの防止』、第4時は『けがの手当』という内容です。そのうちの第4時の学習に養護教諭が参加し、担任と一緒に授業を行いました。

〇学習の内容〇



はじめに「1年生が登校中に鼻血とねんざをしてしまって困っている」という事例を担当がとってもかわいい1年生役をして見せてくれました。困っている1年生(担任)を助けるためにみんなでけがの手当の仕方を考えよう！と授業がスタートしました。

それぞれの担任のカラーが光った、熱い演技に大盛り上がりでした！

★鼻血の手当を考える



まずグループで鼻血の手当について考えました。考えるときになぜその手当をするのか、具体的に考えるよう伝えました。その後、各グループで出た意見をみんなで共有しました。

「まず鼻にティッシュを詰めるんだよ」「下を向くってテレビで見た」「首を冷やすといいて聞いた」など自分の生活経験から様々な意見が出ました。根拠を伝え合いながらグループでの意見をまとめていて、とても活発な話し合いができていました。



★手当の方法の確認

鼻血

- ・出血しているところ(小鼻)をおさえる
- ・下を向く

ねんざ

- ・あ 安静にする
- ・い 痛いところを冷やす
- ・うえ 上にあげる
- ・お おさえる(圧迫)

ねんざ(打撲・骨折)の手当の基本は「あいうえお」を合言葉に伝えました。

★自分で手当をやってみる

自分が切り傷をしてしまったという事例を挙げ、まず切り傷の手当の仕方を今回学習した手当を参考にしながら考えました。その後、実際にばんそうこうを使って切り傷の手当をシミュレーションしました。

切り傷

- ・傷を清潔にする
- ・出血部をおさえる
- ・傷口を上にあげる
- ・ばんそうこうをはる

★最後に、

もともと自分の中に傷を治す力は備わっているが、けがをしたときに、手当を速やかに行うことでよりきれいに早く治すことができることを伝えました。今後自分でできる手当は自分でしたり、周りの人たちに今回学んだことを生かしたりしてほしいと思います。また、けがをしたときは子供だけで判断をせず、必ず大人にも伝えることが大切であると伝えました。

子供たちの振り返り

もし登校中や下校中に一人であるところではけがをしたら、今日学習したことをもとにして、けがの手当をできるように、ばんそうこう、ティッシュ、ハンカチを持ち歩くようにしたいです。また、けがをして困っている人がいたら、ばんそうこうなどを渡してあげるなど指示できるようにしたいです。

もし自分や友達や下の学年の子たちがけがをしてしまったときに助けられるような存在になりたいです。私は鼻血が出る時が多いので、自分が鼻血を出してしまったら今回習ったことをいかして手当をしたいです。

この前、登校中に鼻血が出た子がいて、その時は鼻をおさえることは言えたけど、下を向くことが言えてなかったの、次はしっかりと出来るようにしたいです。また、私は鼻血が出る時が多いので今日学んだことの通りに手当をしていきたいと思っています。



今まではしみるからといってころんだときは軽く洗ってばんそうこうをはっていたけれど、今回の学習で次ころんだときはしっかりとこすって洗ってばんそうこうをはっていきたいです。

わたしはよく鼻血が出るし、いつもなら間違えて最初に鼻にティッシュを詰めて止血していたので、これからは先に鼻をつまんで下を向くようにします。

おねがい

11月13日(水)に学校歯科医を招き、歯科指導を行います。歯の染出しをし、ブラッシング指導をする予定です。そこでご家庭で歯ブラシのご準備をお願いいたします。普段デンタルフロスを使用しているご家庭はデンタルフロスもご準備ください。なにか質問等ありましたら養護教諭までご連絡いただければと思います。

今後の生活では、けがをしたときには慌てず、冷静に正しく手当をするということをしていきたいと思いましたが、今までたくさんのけがをしてたけど、すぐに保健室に行かず、今自分ができるとをしっかりと考えて手当をしていきたいと思いましたが、